

群馬県キャンプ協会

かわら版

発行元 : 群馬県キャンプ協会
事務局 : 373-0851 群馬県太田市飯田町203-3
TEL/FAX **0276-46-3929**
<http://gunma.camping.or.jp>
e-mail cag2001@hotmail.co.jp
第15号 平成24年 1月30日発行

『CAMPING AWARD 2010』 心の痛む受賞

藤沼 真由美

この度は、CAMPING AWARD 2010を受賞させていただき、本当にありがとうございます。群馬県キャンプ協会の中には、素晴らしい功績を残しておられる諸先輩方が沢山いらっしゃいます。そのような中で、私のような若輩者が受賞させて頂いたことは、大変心苦しく、「感謝」の一言に尽きます。

今回、全国で9名と2団体が受賞いたしましたが、忘れられない心の痛む年の受賞となりました。まず、某県協会員の不祥事が起きました事。その後、私達日本人を始め、世界中が騒然とした東北地方太平洋沖地震が起きた事。さらに、追い打ちをかけるような、原子力発電所の崩壊による放射能汚染の問題など、心の痛む出来事が続きました

被災された方々のことを思う時、私には何ができるのか、何をしたらよいのか、悩み苦します。そんな時、『相手の気持ちになる』ことを先ず考えることにしています。キャンプを計画するときも同じです。恐らく、仕事や人と関わる全ての事においても同じだと思います。当たり前の事ですが、難しいことです。

今後も、諸先輩方のご指導を賜り、微力ながら、群馬県キャンプ協会の発展に貢献していきたいと思いますので、宜しくお願ひいたします。

最後に、これを読んで下さった方々に感謝すると共に、是非、私達と一緒に活動をしてくださると嬉しく思いますきっと、自分を成長させる良い機会になると信じています。協会員の貴方と、お逢いできる日を楽しみに待っています



事業実施報告

1 事業名：平成23年度BUC「その時、あなたならどうするPart. 4～かけがえのない命のために!!～」

2 期日：平成23年5月29日（日）

3 会場：群馬県消防学校

4 参加人数：

藤生 昌利	小野里清治	藤沼真由美	青木 雅直	今泉 真悟
苅田 鉄男	岩切 信之	丸山 峰樹	上野 宜重	西田 雅人
高橋 久美	蒲生 祐子	小澤 俊彦	久保田恵美子	松井 良介

（以上15名）

5 概要：災害時の避難誘導や救急救命を視野に入れた研修を、群馬県消防学校の職員の方に依頼し協会員15名の参加のもと実現して頂きました。

6 成果：煙が充満する中での避難においては誘導灯がいかに重要な役割を担っているかを実感できました。また、消火器を用いた消化訓練では実際のABC消火器を用いた消火を全員が体験できました。惜しげもなく本物の薬剤を使用させて頂き、より現実に近い形での訓練ができました。

救急救命では、包帯三角巾による固定の仕方や止血方法を実技を交えて教えて頂きました。また、毛布による簡易搬送法も教えて頂き、もしもの時の知識・技術の備えになったと思います。



事業参加報告

事業参加報告

1 事業名：第20回全国キャンプ大会
CAMP FESTA 富士・朝霧

2 期日：平成23年9月22日（木）～25日（日）
【参加は23日～25日】

3 会場：静岡県立朝霧野外活動センター

4 参加人数：新島 邦彦（1名）

5 概要

本大会は、日本キャンプ協会設立45周年記念大会として実施され、日本キャンプ協会が主催する事業のうち、「青年ミーティング」「キャンプリンストラクター養成講習会」「Camp Meeting in Japan」が同期間に開催された。なお、最終日には「全国事務担当者会議」が開かれた。

新島は、23日「Camp Meeting in Japan」「目からウロコの地図読み教室①」「キャンプグッズ・チャリティーオークション、チャリティー富くじ抽選会」「交換会『サントリー・ナイト』」、24日「目からウロコの地図読み教室②」「使える！新感覚オリエンテーリングプログラム体験②」「朝霧ミニオリエンテーリング大会」「野外ですぐに手に入る草木で草木染め」「アメリカ・キャンプ事情～障害がある人たちのためのサマーキャンプを中心に～」「クロージング・セッション」「交換会『グリーンハウス・ナイト』」、25日「全国事務担当者会議」に参加した。



1 事業名：平成23年度 太田松茸道中

2 期日：平成23年10月2日（日）

3 会場：義重山大光院新田寺 → 太田市役所
→ 妻沼詳聖天山歓喜院

4 参加人数：藤沼真由美、蒲生祐子、秋葉典人、
新島邦彦（4名）

5 概要

本事業は、「江戸時代に行われていた松茸道中を『太田松茸道中』として再現することにより、歴史を感じることをとおして、“ふるさと太田”に対する関心を高める。さらに、青少年の参加を促進し、地域に根ざした青少年活動の一層の活性化を図る。」ことを目的に実施されている。

本協会へは、主催者のひとつである「太田市青少年のつどい実行委員会」から要請を受け、平成21年度から奉仕している。

今年度は、藤沼・蒲生・秋葉が行列に参加し、新島はお吸い物係として奉仕した。

なお、実行委員会には、秋葉・新島が出席した。

本事業に参加することで、各種団体との交流が図れ、群馬県キャンプ協会の存在も周知できることから、次年度以降もより多くの人員を送りたい。



アドベンチャーキャンプ2011を終えて

キッズ委員 秋葉 典人

11月12日（土）、13日（日）とアドベンチャーキャンプ2011が開催されました。

今年のテーマはクリスマスパーティー。「ふとっちょサンタがやってくる」ということで子どもたちも期待を膨らましながら東毛青少年自然の家にやってきました。七月下旬、今年のアドベンチャーでは、例年と違う内容をしようと動き出したキッズ委員会。「少し早いけどクリスマスパーティーがしたい。」「キャンプ協会ならではのプログラムにしたい。」この2つの意見は、委員全員の共通認識でした。何せ初めてのテーマのプログラム。そのため、全てが試行錯誤でした。また、今年度よりキッズ委員会とチャレンジ委員会のキャンプが別れ、今まで参加してくださっていた方々は、年齢的にチャレンジ委員会の対象になり、今年度のキッズキャンプではリピータさんも一新し、新たな顔ぶれになりました。

そんな中、始まった今回のキャンプ。開会式の後、東毛青少年自然の家の大自然を活かしたアクティビティー「森のあそびひろば」を実施しました。このアクティビティーでは、子どもたちが心置きなく自然に触れ、満足がいくまで十分遊びこめる時間を設けました。アイスブレイク後の活動のため、初めはぎこちなかつた子どもたちも次第に大胆になってきて、子ども同士やスタッフと一緒に打ち解けました。



待ちに待ったディナーは大きなチキンがついた超豪華なごはんでした。おいしくいただいた次のプログラムは「さんとのおまつり」。今回は、1日の活動の写真を映像化したVTRを流しました。保護者に子どもだけのプログラムの様子をみて頂くことで安心していただきたいという想いがありました。その後は、キャンドルファイヤーを行いました。未就学の子どもたちも上手にロウソクをもつことができました。中央のキャンドル台にすべて炎がともると、幻想的な光景に子どもたちも保護者もスタッフも思わずみいってしまいました。簡単なゲームをしていたら、まさかの本物のサンタさんが登場！！これには、子どもたちは大喜び！そして、サンタさんに質問攻め…。これには、サンタさんもたじたじでした。もちろん、サンタさんからのプレゼントもありましたよ！！中身は、松ぼっくりでつくるクリスマツリーのキッドでした。

そして夜、子どもたちはテント泊。なんと2歳児の子どもまでもが寝袋でテントの中で睡眠をとることができました。そして、途中の脱落者はなし！！親元を離れ、一晩を過ごした次の日の朝、私は子どもたちが一回り大きく感じました。



2日目は、オリジナルのジャム作り。お父さん、お母さん、お友達と特にスタッフが仲立ちをする必要もなく自分たちで役割を分担し、互いに声を掛け合いながら協力し合って作業をしている姿に、1泊2日のキャンプでもこれだけの一体感を築くことができるのかと、驚きもありました。キャンプが終了して数日後、参加者の一人とお会いすることができました。その時に、キャンプに参加してから、お子さんが苦手だったこと頑張ってみようとする姿がみられるようになったことを教えてくれました。その方は、お子さんがキャンプに参加し、親元を離れて活動することができたことで「自信がついたみたい」とも、話してくださいました。また参加者同士で連絡先を取り合っているとのことです。

子どもたちに「自信を持たず」、人と人のつながりをつくる。これができることが、キャンプ協会のキャンプなのだと今回のキャンプを実施して感じました。

来年度のキッズプログラム委員会のキャンプでもこのような成果をあげられるようなキャンプを目指していきたいとおもっております。今後のキャンプにもご期待ください。



スタッフ希望の方は、群馬事務局までご一報ください

〒373-0851
群馬県太田市飯塚町
203-3(新島副理事長宅)
TEL/FAX 0276-46-3929
E-mail
cag2001@hotmail.co.jp

発行元：群馬県キャンプ協会
発行：小野里 清治 編集：大友 健也
広報誌の無断転載を禁じます。
関係者にはPDF配布も可能です。